

五十人山 イエローフォール 山行報告

【山 域】五十人山：阿武隈山地 イエローフォール：裏磐梯

【コース】

* 五十人山 葛尾村登山口～途中の東屋～五十人山山頂～登山口

* イエローフォール 裏磐梯スキー場～リフト終点～イエローフォール～リフト終点～裏磐梯スキー場



【日 時】平成30年2月24日～25日

【天 候】24日曇り時々雪 24日晴れ時々曇り

【参加者】CL 室（昌）SL 柘植 山内 大木 記録：室

【所要時間】

24日（土）葛尾村 五十人山登山口 11:00-東屋 11:50-山頂 12:30
-東屋 13:20-登山口 14:00

25日（日）裏磐梯スキー場 9:30-銅沼（あかぬま） 10:00-イエローフォール
11:00-裏磐梯スキー場 12:00

【報告文】

24日は裏磐梯のイエローフォール、25日は猫魔ヶ岳に登る予定であったが、お天気が悪いため24日阿武隈山地の五十人山、25日イエローフォールに変更した。

24日（土）

阿武隈山地の山ははじめてでした。お天気が悪いので、太平洋側のお天気が良さそうなエリアでTさんが探してくれました。登山口まで行く途中、福島原発事故の避難地域のすぐ近くを通過、誰も住まなくなった家を沢山見かけた。素敵な家もあって、切ない気持ちになりました。

五十人山登山口は村の体育館のそばにあり、体育館の駐車場に車を止めさせてもらう。

我々の他には体育館に用がある人の車が1台あるのみ。もの好きな私達？

早速支度を整え、登山開始。緩やかな斜面をのんびり歩いていると、途中で雪が降り出しTさんは雨具を着込んだ。私はちょっとしか登らないからと甘くみて雨具を置いてきてしまったため、ウインドブレーカーのまま行動。山を舐めてはいけませんね。ちょっと濡れてしまいました。大した急登もなく、稜線に乗って間もなく山頂直下の広場のような場所に到着。



北面の尾根は最初から雪道



山頂広場



大石がいくつも鎮座する北峰山頂



北峰から西方の眺め（左の鋭鋒は鎌倉岳）

五十人山の山頂は、広ーい草地の広場の上に左右に二つあり双耳峰のような形をしている。片方にはアンテナかと思われる鉄塔が立っていたので、鉄塔の無い方へ登頂。山頂には大きな岩があって、碑が立っていた。書いてあった内容は忘れてしまいました。なんでも坂上田村麻呂が云々と書いてあったような。春先、新緑がめばえた頃などは、気持ちのいい草地でのんびりできそう。残念ながら曇りのため、展望は今ひとつであった。そそくさと下山し、あつというまに駐車場へ到着、本日の宿のある裏磐梯へと車を走らせた。桧原湖のそばの宿で、清潔でお食事大変美味しく、おまけにわかさぎの天ぷらをサービスしてもらって、食べ過ぎて苦しくてそのあとお酒が飲めなくなりました。お風呂は温泉ぼくは無いけれど温泉だったようで、24時間入浴できるのがよかった。（宿 おんせんロッジこはん）



25日(日)

日曜日の天気予報は曇りであったが、朝起きたら中々良いお天気となりました。食べ過ぎてあまりお腹がすかないけれど、朝ごはんが美味しくてまたたくさん食べてしまった。もう、行動食はいりませんね。裏磐梯スキー場では、トレッカーのために往復リフト券が販売されていて、コーヒー無料サービス券も付いています。（往復で1,500円）

リフトに乗っていたら、下にストックが落ちていた。Yさんが落としたのかなと思ったら、Tさんのストックでした。Tさんはストックを拾うため、余分に運動をする羽目に。今日はラクチンだから、まあ良いか。リフトを降りると、素晴らしい展望がひらける。ちょっと雲がかかっていたが、かっこいい磐梯山と五色沼周辺の景色が見える。

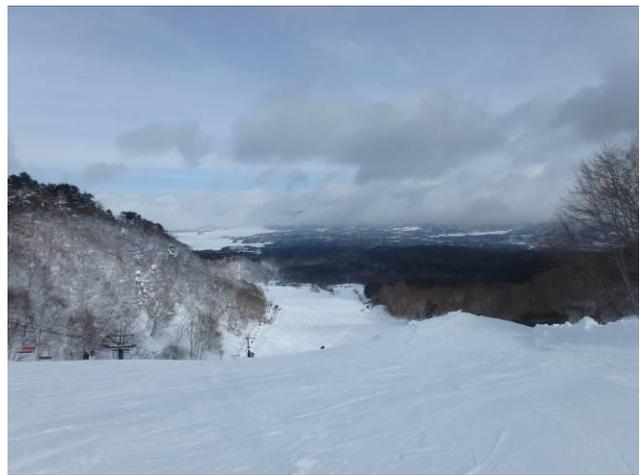
少し歩くと、銅沼（あかぬま）に到着。今は凍結してその上を歩けます。広くなっていて気持ちが良い。沢山の人が歩いていたが、氷が割れないのか心配になった。銅沼を過ぎると少し傾斜が出て来てゆるゆると登っていくと、目的のイエローフォールに到着。その年の気象条件などによって、大きさが変化するようですが、今回はまあまあなのかな？私達は団体さんより一足お先に到着し、記念撮影を済ませ、来た道とは違うところを下山路にし、リフト乗り場まで到着。

下りのリフトでまたしてもTさんが手袋の落としもの。2度目は私が気付いてリフトに乗る前に拾ってあげました。（恩着せがましい言い方）

帰りは温泉入浴はせず真っ直ぐ帰宅、途中の阿武隈高原SAで食べたソースカツ丼がおいしかった。



裏磐梯スキー場のリフトから



ゲレンデトップから北方を望む



出だしの雰囲気



銅沼付近はツアー客で賑やか



これがイエローフォールだ（黄色い滝）



おまけの記念写真